

	授業名	内容・簡略説明	概要・要点
97	身心とは何か1	感覚と表現の物理記憶の出力方法・感覚器の判断と深層	環境認識の限界と論理限界に留まる
96	テーマの創造 2	行動の共有化・改善がもたらす変化と不安	イノベーションのジレンマからの脱出とは
95	テーマの創造 1	智の共有化・システムの誤算	外的変更の不確実性・OSの変化と在庫管理
94	バランス・デザイン 2	クレーム対応の重要性と共有化の戦略	発展のカナメ・心の交流が引き起こす信頼とは
93	バランス・デザイン 1	現場の「分析」と「省略」の戦略	組織デザイン概論・個人と集団のバランスとは
92	メタ認知応用 10	プロダクトデザインと芸術作品・量産技術の裏側	コミュニケーションの展開・型による生産とは
91	メタ認知応用 9	流行を発信する方法の展開	情報伝達の仕掛けと仕組み
90	メタ認知応用 8	世界伝達の裏側・戦略の限界ファッションの役割	ファッションの基準は何によってデザインされたか
89	メタ認知応用 7	環境からデザインする・アートの価値の役割	価値は何を基準にしているのか・過去からの遺産
88	メタ認知応用 6	環境からデザインする・個々の形と役割	現代の生活様式の変化とその方向性の矛盾
87	メタ認知入門 5	理解の正体に身体の訓練・対応	習慣性に実行と脳のストレス限界をさぐる
86	メタ認知入門 4	知性のメタ認知と表現の肉	蓋然論理・と演繹論理・論理の誤算
85	メタ認知入門 3	知性のメタ認知と開放の歴	比較・「空」に対する歴史と論理展開と応用
84	メタ認知入門 2	本能とメタ認知の表	細胞レベルの・組織レベル・本能と発生の周囲系
83	メタ認知入門 1	メタ認知を確認する・行動・論・現場のニーズとは	迷路の存在と・発生原理・美術館の役割
82	深層心理との対話 8	現代日本の中の日本9・老子の中心	哲学に不在な「 」を自らに照らし出す
81	深層心理との対話 6	現代日本の中の日本7・アルベルトに贈る	メタファーと定義の根底を探る。イコノグラフィーとは
80	深層心理との対話 5	東洋のこころを受取る	対話方3 「こころの方向」と執着
79	深層心理との対話 4	現代のストレスを逆デザインする	対話方2 「意識のありよう」と脳健康
78	深層心理との対話 3	身体バランスと習慣	対話方1 「入り口」と身体・呼吸・歩くとは
77	深層心理との対話 2	身体バランスと行動	「自由と野生」ゆらぎ・伝達手段
76	深層心理との対話 1	エミリ・ディキンソンに探る	翻訳の限界と共有意識
75	個人の美学デザイン15	文学のゆくえと美のゆくえ 1	山形和美の「ロゴスとポイエマ」
74	個人の美学デザイン14	山本丘人先生に学ぶ美の変遷 2	福田鑒治先生に伺う・表現の温め方
73	個人の美学13	山本丘人先生に学ぶ美の伝授 1	福田鑒治先生に伺う・昭和の絵画の記憶
72	個美12・胎児の世界とは	三木成夫先生に学んだ生き物の「ゆらぎ」③	生命記憶の限界と可能性1・DNAの13の鍵とは
71	個美11・食と性の異想交換	三木成夫先生に学んだ生き物の「変形」②	根源形象の発生と共存とは・シェーマとは
70	個美10・発生・メタモルフォーゼ	三木成夫先生に学んだ生き物の「生存の容」①	個体発生と系統発生の可能性と応用デザイン
69	個美9・心の裏側	執着と美学・現場の強み	感の重要性と観察の重要性
68	個美8・時間の移動	手塚治虫先生にみる・立ち位置の研究	生前・ご本人に取材した中より
67	個美7・日本美術院	岡倉天心先生にみる「有用」と「無用」2	育てることと・育つこと
66	個美6・明治の情勢	岡倉天心先生にみる「有用」と「無用」1	中心に「何」があったのか・内なる敵とは
65	個美5・成りきる	現代日本の中の日本 2・	若桑みどり氏に学ぶ「メタファー」の温め方
64	個美4・闇の記憶	現代日本の中の日本1・本人招待	岡村桂三郎の野生と論理性
63	個美3・写すとは	現代アメリカの中のアメリカ 2	ジョージシーガルの立ち位置
62	個美2・時代の要求	現代アメリカの中のアメリカ 1	ジャクソンポロックという「本能」
61	個人の美学1・外からの日本画	現代アメリカの中の日本 1	マコトフジムラの作品に見る表現と音のありかた
60	日本の国内事情探索10	書道美学の研究 河内利治の国際性	書は芸術なのか考察2
59	日本の国内事情探索9	浮世絵の美学4 千住 博氏の国際性とは	現代教育の実態を探る2
58	日本の国内事情探索8	現代浮世絵の美学 3 棟方志功の国際性	「線」の考察①鉄線描からたらしこみ
57	日本の国内事情探索7	現代浮世絵の美学 2 版画の国際性	アートの源流と絵画の違い
56	日本の国内事情探索5	雪舟の絵画構成の美学をさぐる	現代に通じる「構成」の伝承
55	日本の国内事情探索6	浮世絵の美学 1・どこから描いて・どこまでで終わらせる	役割分担と現代アートの類似性の美

54	日本の国内事情検索4	元寇に隠された現代美学を探る	元寇に本物の貨幣経済の源泉はたどれるのか
53	日本の国内事情検索3	平安を探る・都市と人の拘り	仏画に見る「個人」と「救済のねがい」
52	日本の国内事情検索2	飛鳥時代の「美に」何がおこったのか	時代は「文字」の概念をどのように消化
51	日本の国内事情検索1	縄文時代の美のありようとアイヌのジャポニスム	フランス人はなぜ縄文土器に反応したのか
50	公共空間の演出⑦	ポンパドゥール夫人に学ぶ	王の権威の裏側・ヴェルサイユ宮殿の残したものの
49	公共空間の演出⑥	フルーリー枢機卿に学べ2・新	国家の反映の基盤を考察する
48	公共空間の演出⑤	ルイ14・15世に学ぶ・共有意識の限界	束縛とは何か・生活と規制の美
47	公共空間の演出④	雪舟のデザイン「掛け軸」空間性と演出	時代からまなぶコンポジションとゲシュタルト
46	公共空間の演出③	環境造形の「心と形」構造態と造作態・新	「作庭記」考察①生得の美と生態バランス
45	公共空間の演出②	中世の日本・時代の意匠デザイン	装飾・と解脱に学ぶ・潜在意識の海
44	公共空間の演出①	利休の時代に何があったかのか・茶道の現実感・新	日本のサロン空間と・東西の違い考察1
43	オフィシャル空間の創造④	ダビンチはなぜ悲しいのか・おすすめ	時代性と客観性・ルネッサンス
42	オフィシャル空間の創造③	本当の「サービス」とは何か・安らぎ・と不安を考察	生き残りの哲学⑧現代とは・つづく
41	オフィシャル空間の創造②	梅棹忠夫の文明デザイン	人間の「原理」・心理と誘惑・文明の継続は可能か？
40	オフィシャル空間の創造①	公共概念の実態・現代図書館の運営	情報整理の限界
39	現代美術と金融工学3	デュシャンをコピー・コラージュするには2	オクタビオ・パスの舞台裏・考察・新
38	現代美術と金融工学6	現代アートを終焉・創造「にせもの」とは・新	スーザン ストレンジへの接近・考察1
37	現代美術と金融工学2	マルセル・デュシャンのデザインとは1	現代美術の不確実性をのり・考察する
36	現代美術とデザイン5	現代アメリカの戦略・価値の定義とは・新	貨幣価値の源泉とは・絵画と紙幣の歴史②
35	現代美術とデザイン1	価値を生み出すとは・価値の歴史	これからの代替紙幣・考察・新
34	現代美術とデザイン4	アンディ・ウォーホルを本気でコピーしたら1	現代美術の国家戦略と弱点・新①
33	音楽の表情デザイン4	共鳴するとは音の意匠を作る・新	音とリズムに対する人体の共鳴
32	音楽の表情デザイン3	お能の音と声・音を描く・新③	現在の音声伝達概念の伝達矛盾とは
31	音楽の表情デザイン2	芸能山城組に「声」の野生を描く②	声の伝達と感情の伝達をさぐる
30	音楽の表情デザイン1	ジムノペディとラーマヤナ・音を描く①	西洋・東洋・個人・「多様性」
29	形の限界デザイン3	感動と個人経験からの決別・新	情熱の「力」と 分解の「無力さ」
28	形の限界デザイン2	色の排除実験から・新	表情を探る入り口とは
27	形の限界デザイン1	装飾の排除実験から・新	線の・再構成(伝統との対峙)
26	遺伝子のデザイン4	表情を考察する・新	本能の表情と内蔵の発達形態を考察する
25	遺伝子のデザイン3	時間とのつきあいかた・現在と過去	固定することの「概念」の鍵を探る客観性
24	遺伝子のデザイン2	無意下と呼吸・重力の考察・新	情報の伝達と音声化人間の文化の継承①
23	遺伝子のデザイン1	繰り返しの研究・イスラムとケルト・新	民族の相違と共通形象・螺旋の歴史
22	昆虫の形態と魚類3	アグリラス描画と魚類メタモルフォーゼの記憶	生命の原型・生物デザインとエボデボの考察
21	昆虫の形態と脊椎動物2	ソロモン・顕微鏡を使った絵画制作・新	「美は細部にやどるか？」発生形態の必然性とは
20	昆虫の形態1	生命形態のホメオボックスと種族保存	地球上の位置と物理法則の関連性
19	絵の具の表情2	絵の具の定着・を科学ポテンシャルと構造から考える	絵の具の定着・を接着から考える
18	絵の具の表情1	表現素材と人の出会い体験科学・新	描くことの道具と表現・ボディー
17	文字の伝達方法4	ネット・共通言語を作る・新	絵画と「文字」の相違を探る
16	文字の伝達方法3	連なる形態の美と時間・新	「文字の美学」に対する考察 1/22
15	文字の伝達方法2	「漢字」と音声の限界・音声との対話・新	「伝達」言語の概念・「理解」の限界をさぐる・新
14	文字の伝達方法1	「ひらがな」をテーマに限界をさぐる・新	なぜ「文字」が伝達領域を超えないのか・新
13	人の「動き」の世界	分解とバランス・継続と断絶の表現・新	中国の言語概念と日本の美・表現
12	人の表情から人相へ	悲しみの表現・怒りの表現・新	体の言葉と象徴性を探求する
11	人の表情3	らくがきから「アート」へ・新	時代に適応する推移・表現の時代性

10	人の表情2	人の反応の原理・ライフ・マスク製作・和紙の繊維	形から何が読み取れるのか
9	人の表情1	精神と仮面・製作を行う・表情筋と発生学・新	ペルソナと形を発生学からさぐる
8	無意識の世界3	脳の言語野と視覚伝達を理解する・新	音楽の共振性とデザイン
7	無意識の世界2	アナモルフォーゼと・イメージーションとは・新	記憶の中身の糸口をさぐる・テキスタイルデザイン
6	無意識の世界1	2時平面の意識化・新	見え方を図形化する
5	意識の限界	無意識を図形化・歴史を温めてみる・新	不確定要素表現から読み取る
4	考えをまとめる	図と言葉・音・写真の組合せ・新	伝達の方法と・効果・論理と直感
3	考えを伝える	図に描く方法の発見・新	デザイン・言葉の限界と共通言語
2	ア・シンメトリー考察	飛行物の製作をとうして・新	旋回運動・力と運動の軌跡・遺伝子の隙間
1	シンメトリーを考える	飛行物の製作をとうして・新	発生学・本能との対話・操縦・原理

ありんこくらぶ教員用・授業	http://www016.upp.so-net.ne.jp/arinko/index0.html	
授業担当者・	KENJI OKUKURA	
B-5	授業内容2012/07/08（新）改定版 5	